

JGS	0520	土の三軸試験の供試体作製・設置
-----	------	-----------------

調査件名 サンプル

試験年月日

試料番号 (深さ) S5-5 (-19.00~-20.00m)

試験者 地盤 太郎

供試体を用いる試験の基準番号と名称		JGS 0541-2009 土の繰返し非排水三軸試験			
試料の状態 ¹⁾	乱さない	土粒子の密度 ρ_s ³⁾ g/cm ³		2.677	
供試体の作製 ²⁾	トリミング法				
土質名称	シルト混じり粘土				
供試体 No.		1	2	3	4
初期状態	直径 cm	5.000	5.000	5.000	5.000
	平均直径 D_i cm	5.000	5.000	5.000	5.000
	高さ cm	10.000	10.000	10.000	10.000
	平均高さ H_i cm	10.000	10.000	10.000	10.000
	体積 V_i cm ³	196.30	196.30	196.30	196.30
	含水比 w_i %	37.2	33.2	34.3	34.9
	質量 m_i g	257.73	242.97	249.93	248.64
	湿潤密度 ρ_{ti} ³⁾ g/cm ³	1.313	1.238	1.273	1.267
	乾燥密度 ρ_{di} ³⁾ g/cm ³	0.957	0.929	0.948	0.939
	間隙比 e_i ³⁾	1.80	1.88	1.82	1.85
	飽和度 S_{ri} ³⁾ %	55	47	51	51
	相対密度 D_{ri} ³⁾ %				
	設置・飽和過程	軸変位量の測定方法			
設置時の軸変位量 cm					
飽和過程の軸変位量 cm					
軸変位量 ΔH_i ⁵⁾ cm					
体積変化量の測定方法					
設置時の体積変化量 cm ³					
圧密前 (試験前)	高さ H_0 cm	10.000	10.000	10.000	10.000
	直径 D_0 cm	4.999	4.999	4.999	4.999
	体積 V_0 cm ³	196.30	196.30	196.30	196.30
	乾燥密度 ρ_{d0} ³⁾ g/cm ³	0.957	0.929	0.948	0.939
	間隙比 e_0 ³⁾	1.80	1.88	1.82	1.85
	相対密度 D_{r0} ³⁾ %				
炉乾燥後	容器 No.				
	(炉乾燥供試体+容器)質量 g	274.10	271.23	270.98	269.45
	容器質量 g	86.23	88.81	84.88	85.07
	炉乾燥質量 m_s g	187.87	182.42	186.10	184.38

特記事項

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態 (塊状, 凍結, ときほぐされた) 等を記載する。
- 2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3) 必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5) 設置時の変化と飽和過程および B 値測定過程での変化を合わせる。

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

JGS	0541	土の繰返し非排水三軸試験 (試験条件・圧密状態)
-----	------	--------------------------

調査件名 サンプル

試験年月日

試料番号 (深さ) S5-5 (-19.00~-20.00m)

試験者 地盤 太郎

土質名称		シルト混じり粘土	試料の状態 ¹⁾		乱さない		
飽和方法		脱気水+背圧	供試体の作製方法 ²⁾		トリミング法		
試験条件	背圧 u_b	kN/m ²	196.2	土粒子の密度 ρ_s ³⁾		g/cm ³	2.677
	圧密応力 σ'_c	kN/m ²	98.1				
	有効拘束圧 σ'_o	kN/m ²	98.1				
供試体 No.			1	2	3	4	
圧密前	高さ H_o	cm	10.000	10.000	10.000	10.000	
	直径 D_o	cm	4.999	4.999	4.999	4.999	
	乾燥密度 ρ_{d0} ³⁾	g/cm ³	0.957	0.929	0.948	0.939	
	間隙比 e_o ³⁾		1.80	1.88	1.82	1.85	
	相対密度 D_{r0} ³⁾	%					
圧密後	体積変化量 ΔV_c	cm ³	7.82	11.26	8.95	10.02	
	軸変位量 ΔH_c	cm	0.133	0.191	0.152	0.170	
	体積 V_c	cm ³	188.48	185.04	187.35	186.28	
	高さ H_c	cm	9.867	9.809	9.848	9.830	
	断面積 A_c	cm ²	19.10	18.86	19.02	18.95	
	炉乾燥質量 m_s	g	187.87	182.42	186.10	184.38	
	乾燥密度 ρ_{dc}	g/cm ³	0.997	0.986	0.993	0.990	
	間隙比 e_c ³⁾		1.69	1.72	1.69	1.70	
間隙圧係数 B	圧密前	セル圧変化 $\Delta \sigma$	kN/m ²				
		間隙水圧変化 Δu	kN/m ²				
	圧密後	測定に要した時間	min				
		B 値					
間隙圧係数 B	圧密前	セル圧変化 $\Delta \sigma$	kN/m ²				
		間隙水圧変化 Δu_u	kN/m ²				
	圧密後	測定に要した時間	min				
		B 値 ⁴⁾					

特記事項

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態 (塊状, 凍結, ときほぐされた) 等を記載する。
- 2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3) 必要に応じて記載する。
- 4) 圧密後 B値 = $(\Delta u_u + \Delta u_1) / 2 \Delta \sigma$

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

調査件名 サンプル

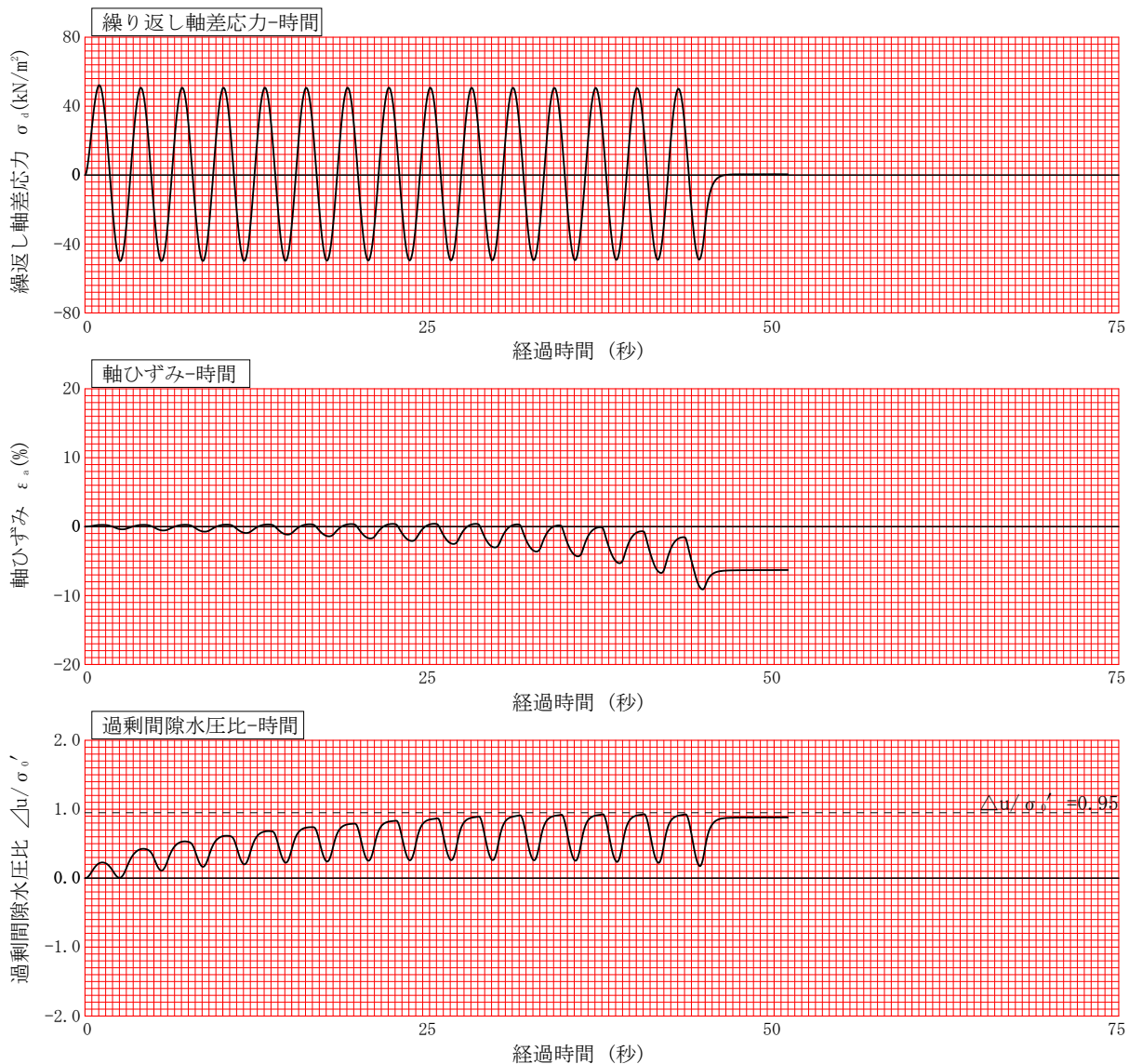
試験年月日

試料番号（深さ） S5-5（-19.00～-20.00m）

試験者 地盤 太郎

供試体 No.	1	軸ひずみの両振幅	圧縮・伸張荷重の比 P_c/P_E	繰返し軸差応力 σ_d kN/m ²	繰返し載荷回数 N_c
試験条件	背圧 u_b kN/m ²	196.2	$DA \leq 1\%$ ¹⁾	50.471	/
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1	$DA = 1\%$	50.306	
	有効拘束圧 σ'_v kN/m ²	98.1	2%	50.172	
載荷波形		5%	1.025	50.013	12
載荷周波数 f Hz	0.2	%			
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$	0.257	過剰間隙水圧比95%のときの繰返し載荷回数 N_{95}			

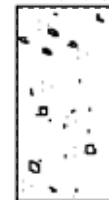
波形の連続記録²⁾



特記事項

- 1) $DA = 1\%$ までの平均値
 - 2) 繰返し軸差応力、軸ひずみ、過剰間隙水圧比または、軸荷重、軸変位、過剰間隙水圧のいずれかを図示する。または別途添付してよい。必要に応じてセル圧の連続記録も添える。
- [1kN/m² ≒ 0.1012kgf/cm²]

供試体初期状態



繰返し載荷後



調査件名 サンプル

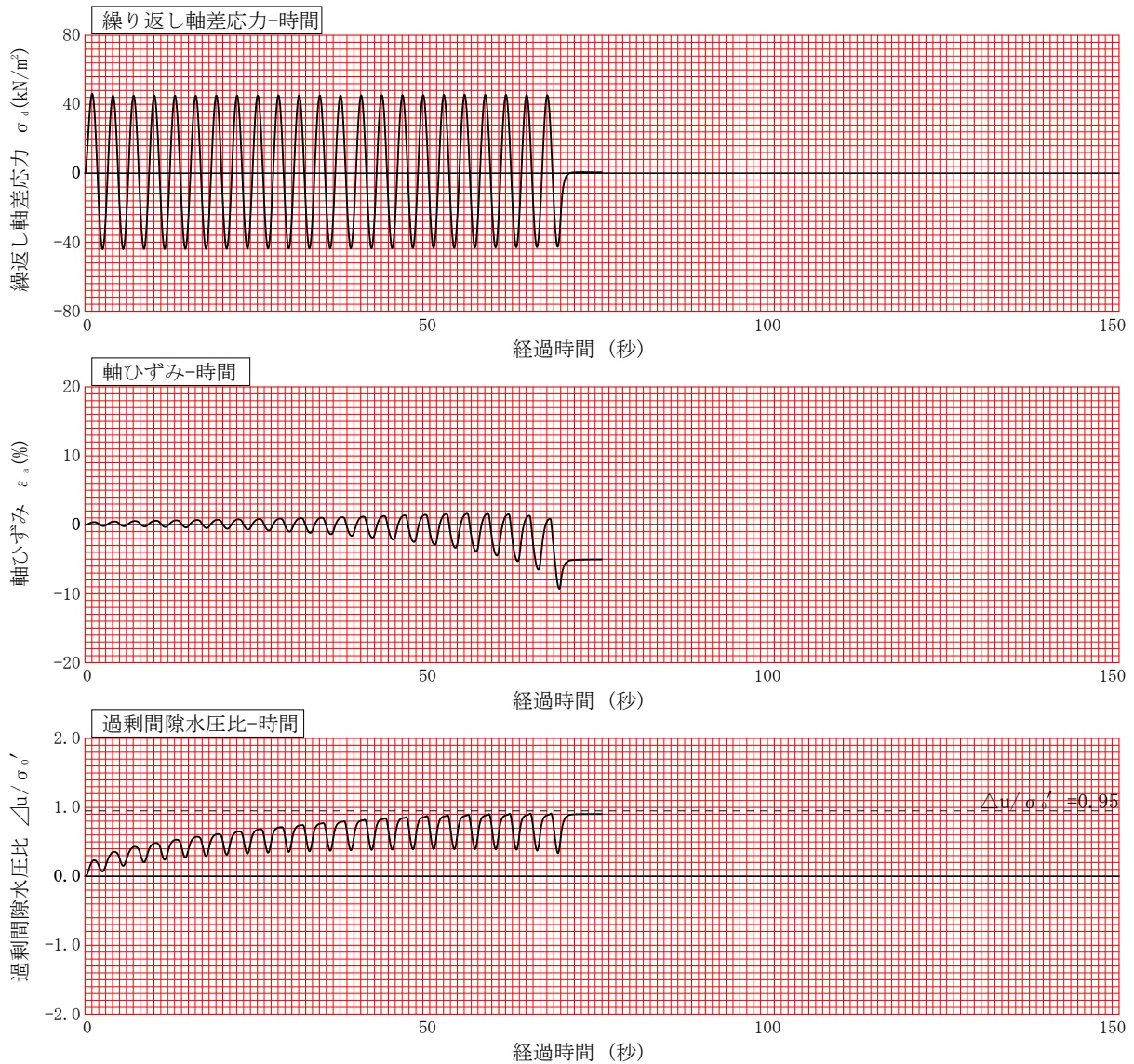
試験年月日

試料番号（深さ） S5-5（-19.00~-20.00m）

試験者 地盤 太郎

供試体 No.	2	軸ひずみの両振幅	圧縮・伸張荷重の比 P_c/P_E	繰返し軸差応力 σ_d kN/m ²	繰返し荷回数 N_c
試験条件	背圧 u_b kN/m ²	196.2	$DA \leq 1\%$ ¹⁾	44.629	/
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1	$DA = 1\%$	44.528	
	有効拘束圧 σ'_{θ} kN/m ²	98.1	2%	44.465	
載荷波形		5%	1.048	44.403	18
載荷周波数 f Hz	0.2	%			
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_c$	0.227	過剰間隙水圧比95%のときの繰返し荷回数 N_{95}			

波形の連続記録²⁾



特記事項

- 1) $DA = 1\%$ までの平均値
 - 2) 繰返し軸差応力、軸ひずみ、過剰間隙水圧比または、軸荷重、軸変位、過剰間隙水圧のいずれかを図示する。または別途添付してよい。必要に応じてセル圧の連続記録も添える。
- [1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

供試体初期状態



繰返し載荷後



調査件名 サンプル

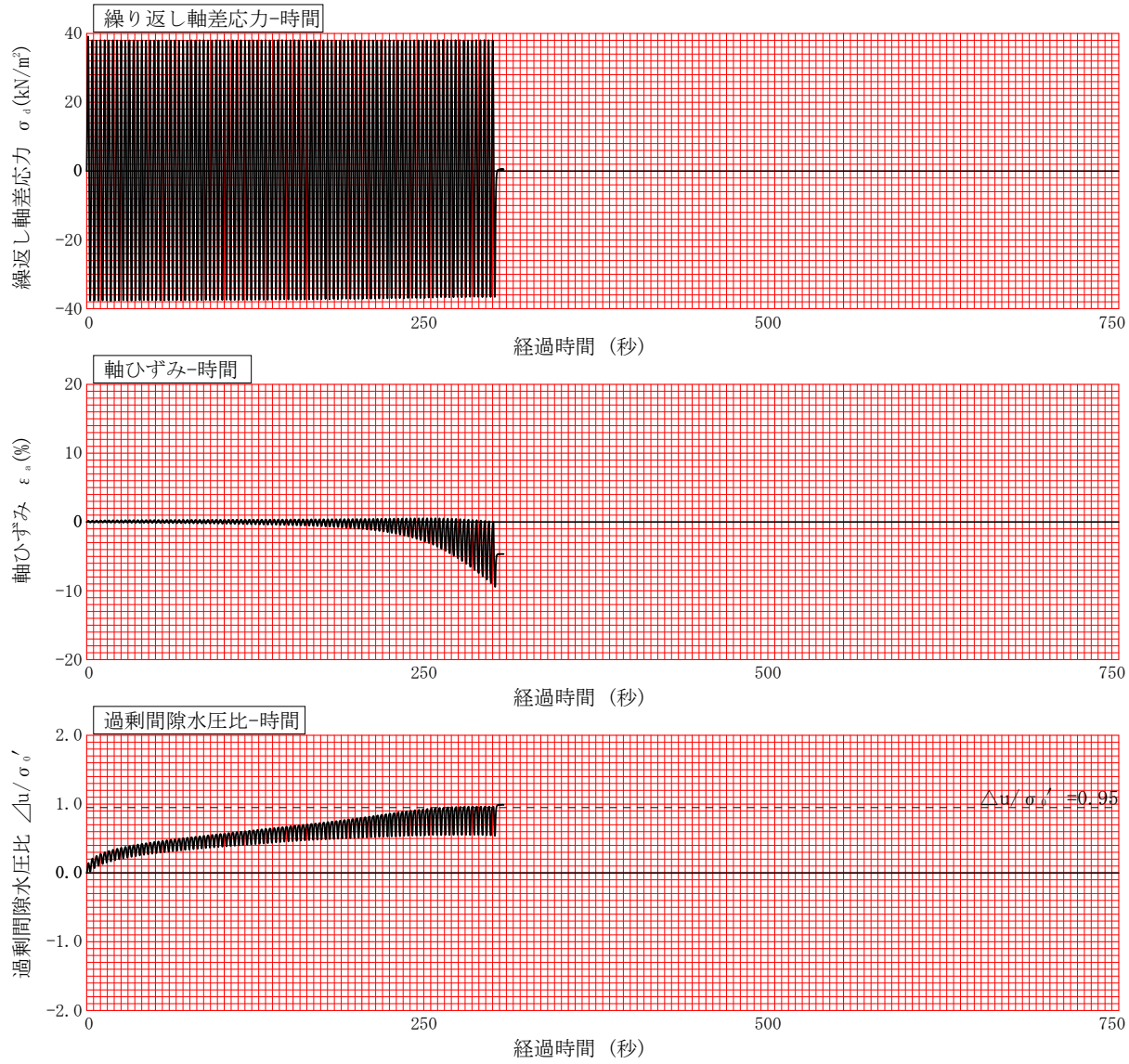
試験年月日

試料番号（深さ） S5-5（-19.00~-20.00m）

試験者 地盤 太郎

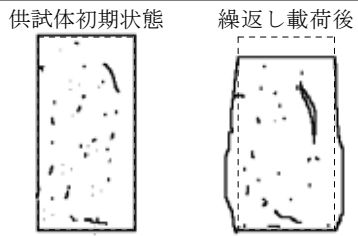
供試体 No.	3	軸ひずみの両振幅	圧縮・伸張荷重の比 P_c/P_E	繰返し軸差応力 σ_d kN/m ²	繰返し載荷回数 N_c
試験条件	背圧 u_b kN/m ²	196.2	$DA \leq 1\%$ ¹⁾	1.019	37.723
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1	$DA = 1\%$	1.019	59
	有効拘束圧 $\sigma'_{o'}$ kN/m ²	98.1	2%	1.030	74
載荷波形		5%	1.036	37.324	89
載荷周波数 f Hz	0.2	%			
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.192	過剰間隙水圧比95%のときの繰返し載荷回数 N_{95}			

波形の連続記録²⁾



特記事項

- 1) $DA = 1\%$ までの平均値
 - 2) 繰返し軸差応力, 軸ひずみ, 過剰間隙水圧比または, 軸荷重, 軸変位, 過剰間隙水圧のいずれかを図示する。または別途添付してよい。必要に応じてセル圧の連続記録も添える。
- [1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]



調査件名 サンプル

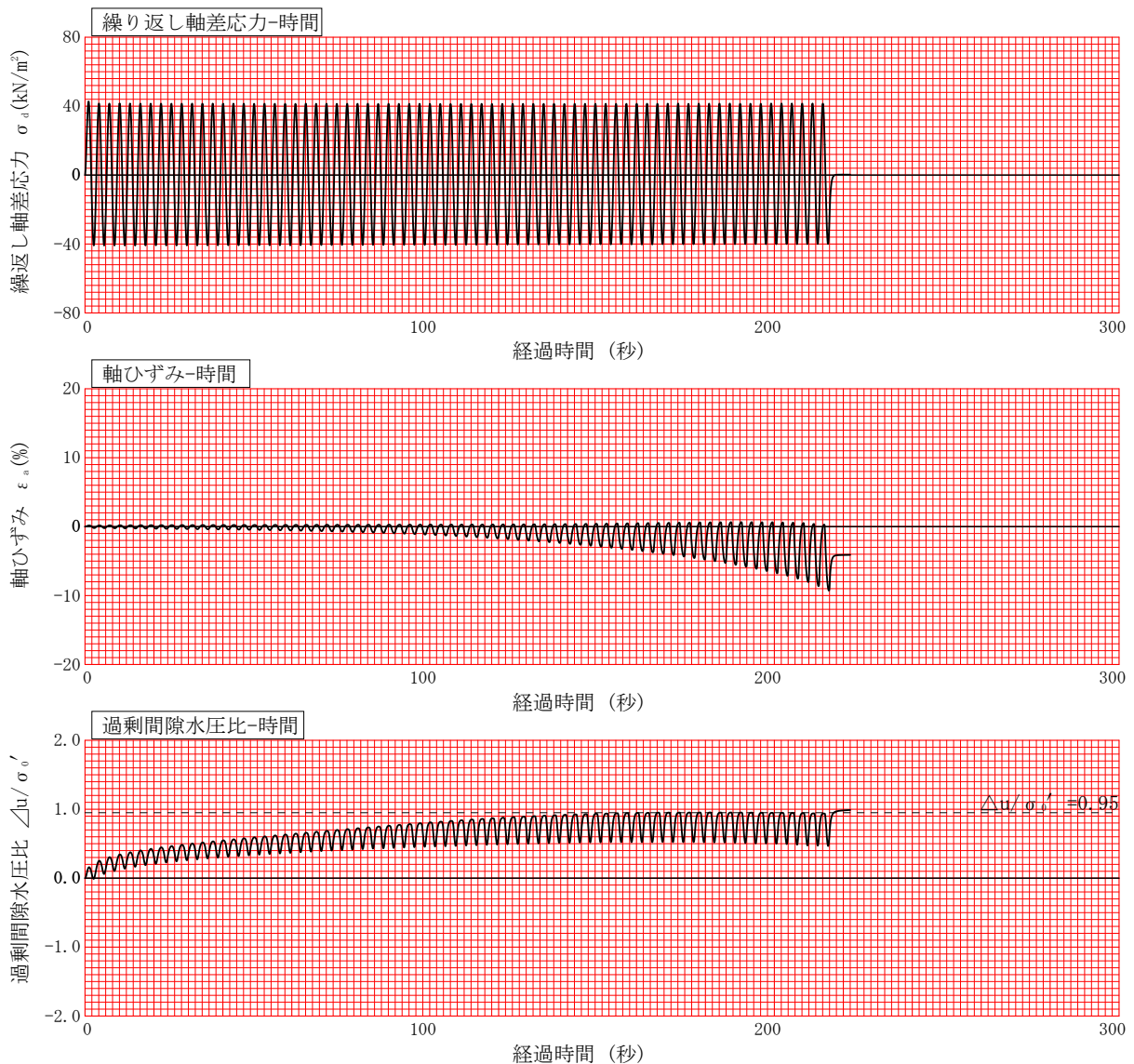
試験年月日

試料番号（深さ） S5-5（-19.00~-20.00m）

試験者 地盤 太郎

供試体 No.	4	軸ひずみの両振幅	圧縮・伸張荷重の比 P_c/P_E	繰返し軸差応力 σ_a kN/m ²	繰返し載荷回数 N_c
試験条件	背圧 u_b kN/m ²	196.2	$DA \leq 1\%^{1)}$	1.021	41.107
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1	$DA = 1\%$	1.021	40.974
	有効拘束圧 σ'_o kN/m ²	98.1	2%	1.023	40.824
載荷波形		5%	1.032	40.721	59
載荷周波数 f Hz	0.2	%			
繰返し応力振幅比 $\sigma_a/2\sigma'_o$	0.210	過剰間隙水圧比95%のときの繰返し載荷回数 N_{95}			

波形の連続記録²⁾



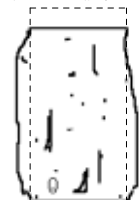
特記事項

- 1) $DA = 1\%$ までの平均値
 - 2) 繰返し軸差応力、軸ひずみ、過剰間隙水圧比または、軸荷重、軸変位、過剰間隙水圧のいずれかを図示する。または別途添付してよい。必要に応じてセル圧の連続記録も添える。
- [1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

供試体初期状態



繰返し載荷後



調査件名 サンプル

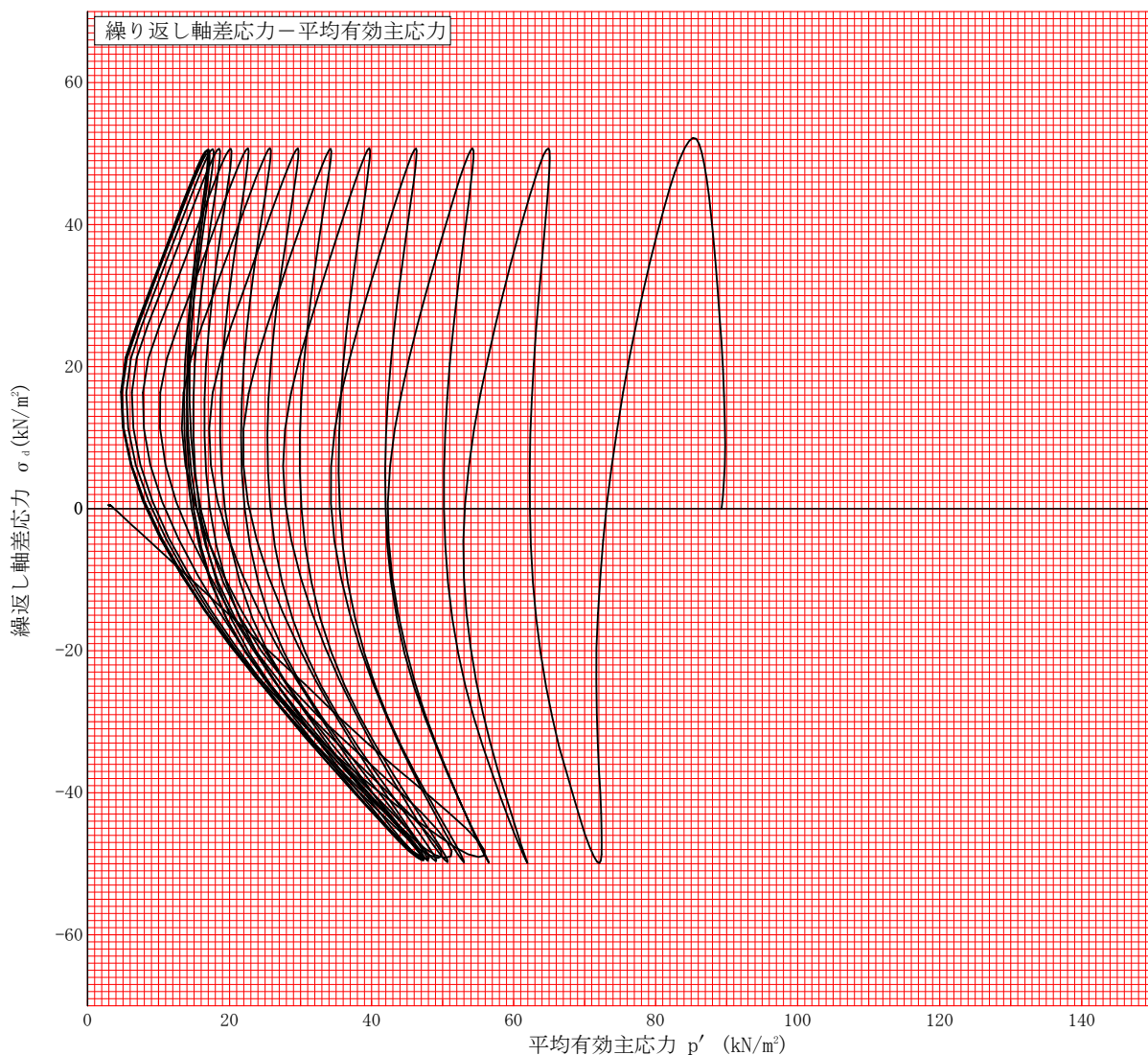
試験年月日

試料番号（深さ） S5-5（-19.00～-20.00m）

試験者 地盤 太郎

供試体 No.	1	軸ひずみの両振幅	圧縮・伸張荷重の比 P_c/P_E	繰返し軸差応力 σ_a kN/m ²	繰返し載荷回数 N_c
試験条件	背圧 u_b kN/m ²	196.2	$DA \leq 1\%$ ¹⁾	50.471	/
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1	$DA = 1\%$	50.306	
	有効拘束圧 $\sigma'_{o'}$ kN/m ²	98.1	2%	50.172	
載荷波形		5%	1.025	50.013	12
載荷周波数 f Hz	0.2	%			
繰返し応力振幅比 $\sigma_a/2\sigma'_c$	0.257	過剰間隙水圧比95%のときの繰返し載荷回数 N_{i95}			

波形の連続記録²⁾



特記事項

- 1) $DA = 1\%$ までの平均値
 - 2) 繰返し軸差応力、軸ひずみ、過剰間隙水圧比または、軸荷重、軸変位、過剰間隙水圧のいずれかを図示する。または別途添付してよい。必要に応じてセル圧の連続記録も添える。
- [1kN/m² ≒ 0.1012kgf/cm²]

供試体初期状態



繰返し載荷後



調査件名 サンプル

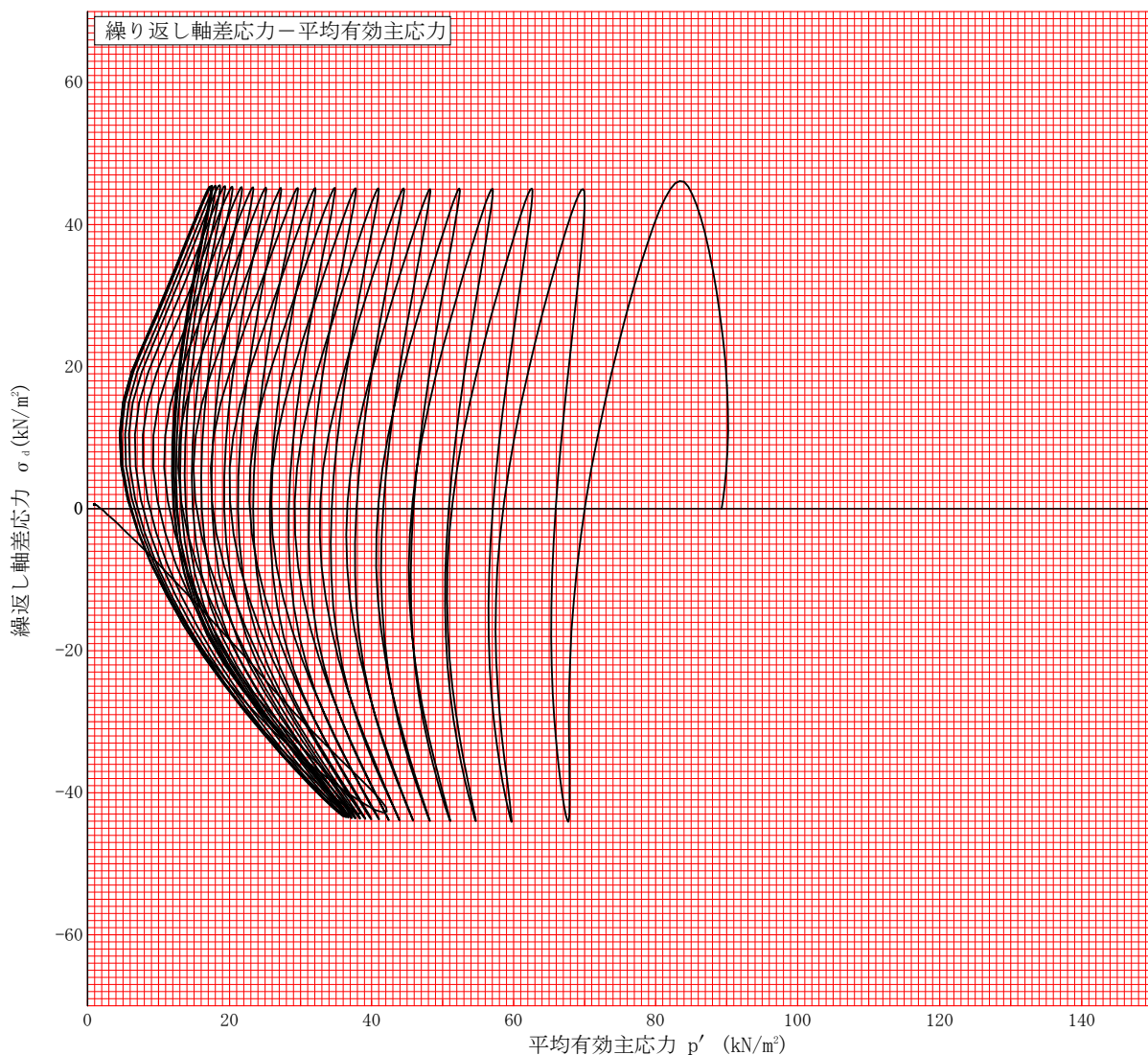
試験年月日

試料番号（深さ） S5-5（-19.00~-20.00m）

試験者 地盤 太郎

供試体 No.	2	軸ひずみの両振幅	圧縮・伸張荷重の比 P_c/P_E	繰返し軸差応力 σ_d kN/m ²	繰返し載荷回数 N_c
試験条件	背圧 u_b kN/m ²	196.2	$DA \leq 1\%$ ¹⁾	1.024	44.629
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1	$DA = 1\%$	1.024	44.528
	有効拘束圧 σ'_o kN/m ²	98.1	2%	1.033	44.465
載荷波形		5%	1.048	44.403	18
載荷周波数 f Hz	0.2	%			
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.227	過剰間隙水圧比95%のときの繰返し載荷回数 N_{95}			

波形の連続記録²⁾



特記事項

- 1) $DA = 1\%$ までの平均値
 - 2) 繰返し軸差応力，軸ひずみ，過剰間隙水圧比または，軸荷重，軸変位，過剰間隙水圧のいずれかを図示する。または別途添付してよい。必要に応じてセル圧の連続記録も添える。
- [1kN/m² ≒ 0.1012kgf/cm²]

供試体初期状態



繰返し載荷後



調査件名 サンプル

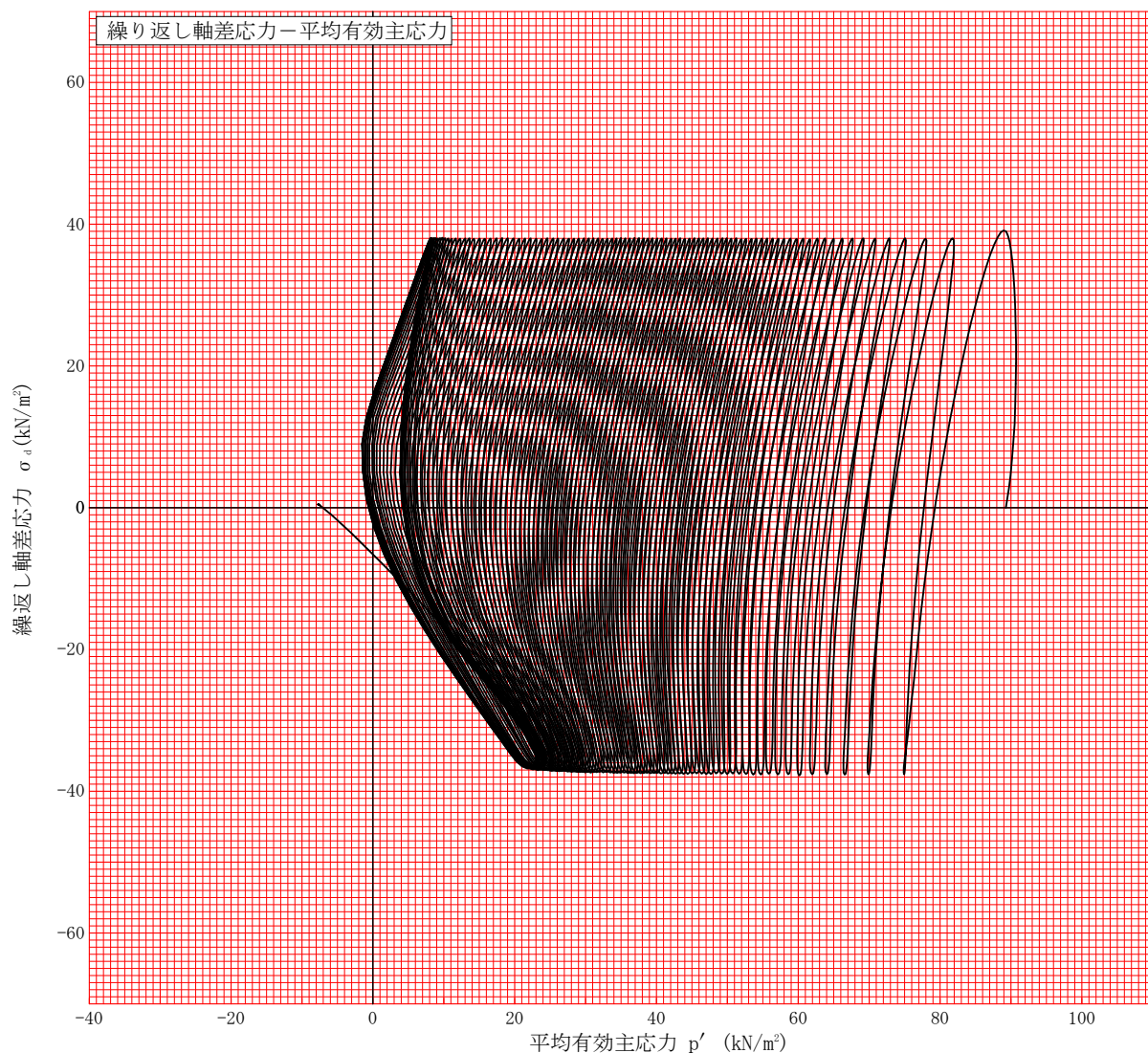
試験年月日

試料番号（深さ） S5-5（-19.00~-20.00m）

試験者 地盤 太郎

供試体 No.	3	軸ひずみの両振幅	圧縮・伸張荷重の比 P_c/P_E	繰返し軸差応力 σ_d kN/m ²	繰返し載荷回数 N_c	
試験条件	背圧 u_b kN/m ²	196.2	$DA \leq 1\%$ ¹⁾	1.019	/	
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1	$DA = 1\%$	1.019		59
	有効拘束圧 $\sigma'_{o'}$ kN/m ²	98.1	2%	1.030		74
載荷波形		5%	1.036	37.324	89	
載荷周波数 f Hz	0.2	%				
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.192	過剰間隙水圧比95%のときの繰返し載荷回数 $N_{0.95}$				

波形の連続記録²⁾



特記事項

- 1) $DA = 1\%$ までの平均値
 - 2) 繰返し軸差応力, 軸ひずみ, 過剰間隙水圧比または, 軸荷重, 軸変位, 過剰間隙水圧のいずれかを図示する。または別途添付してよい。必要に応じてセル圧の連続記録も添える。
- [1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

供試体初期状態



繰返し載荷後

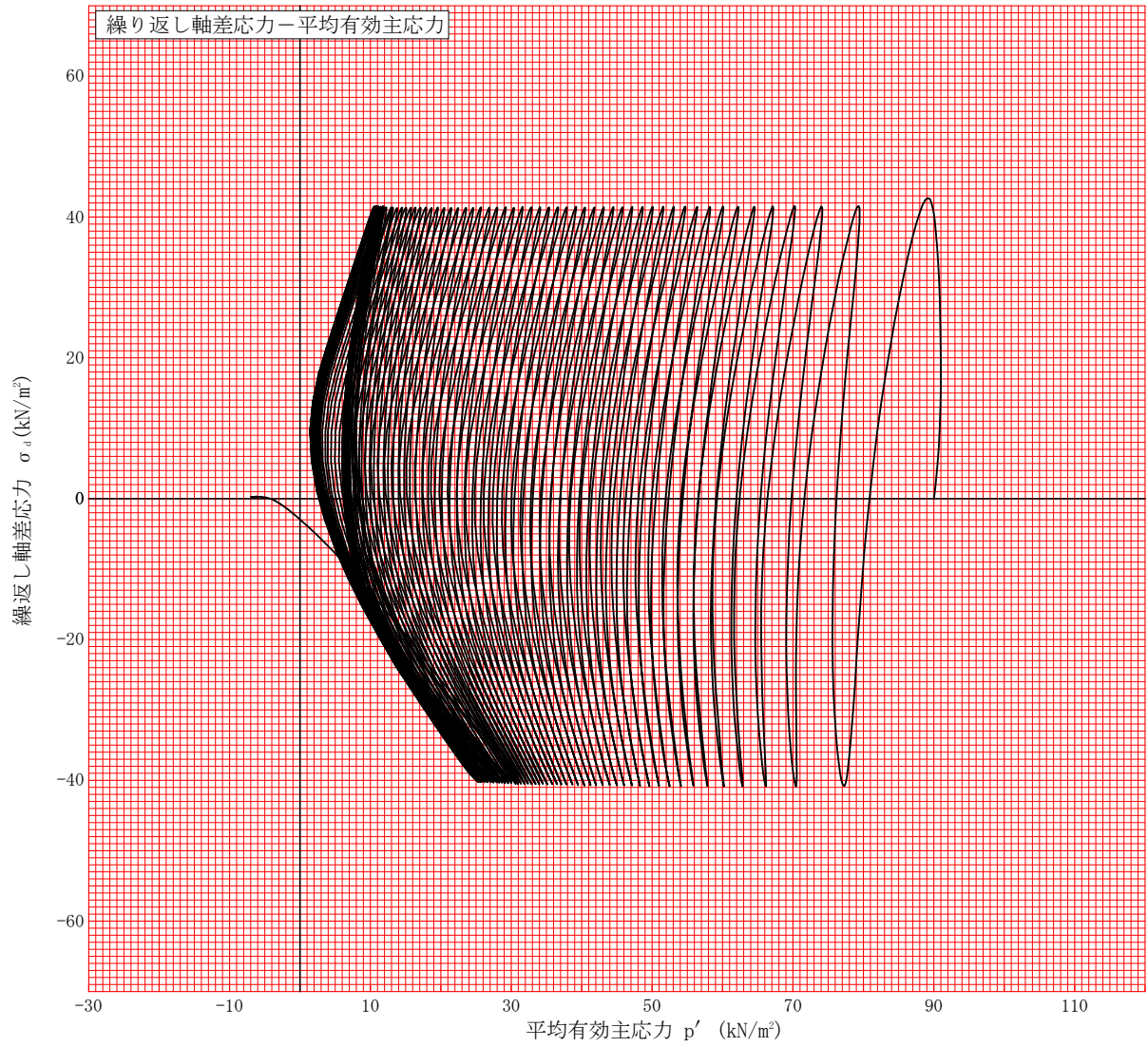


調査件名 サンプル 試験年月日

試料番号（深さ） S5-5（-19.00~-20.00m） 試験者 地盤 太郎

供試体 No.	4	軸ひずみの両振幅	圧縮・伸張荷重の比 P_c/P_E	繰返し軸差応力 σ_d kN/m ²	繰返し載荷回数 N_c
試験条件	背圧 u_b kN/m ²	196.2	$DA \leq 1\%$ ¹⁾	1.021	/
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1	$DA = 1\%$	1.021	
	有効拘束圧 σ'_o kN/m ²	98.1	2%	1.023	40
載荷波形		5%	1.032	40.721	59
載荷周波数 f Hz	0.2	%			
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.210	過剰間隙水圧比95%のときの繰返し載荷回数 N_{95}			

波形の連続記録²⁾



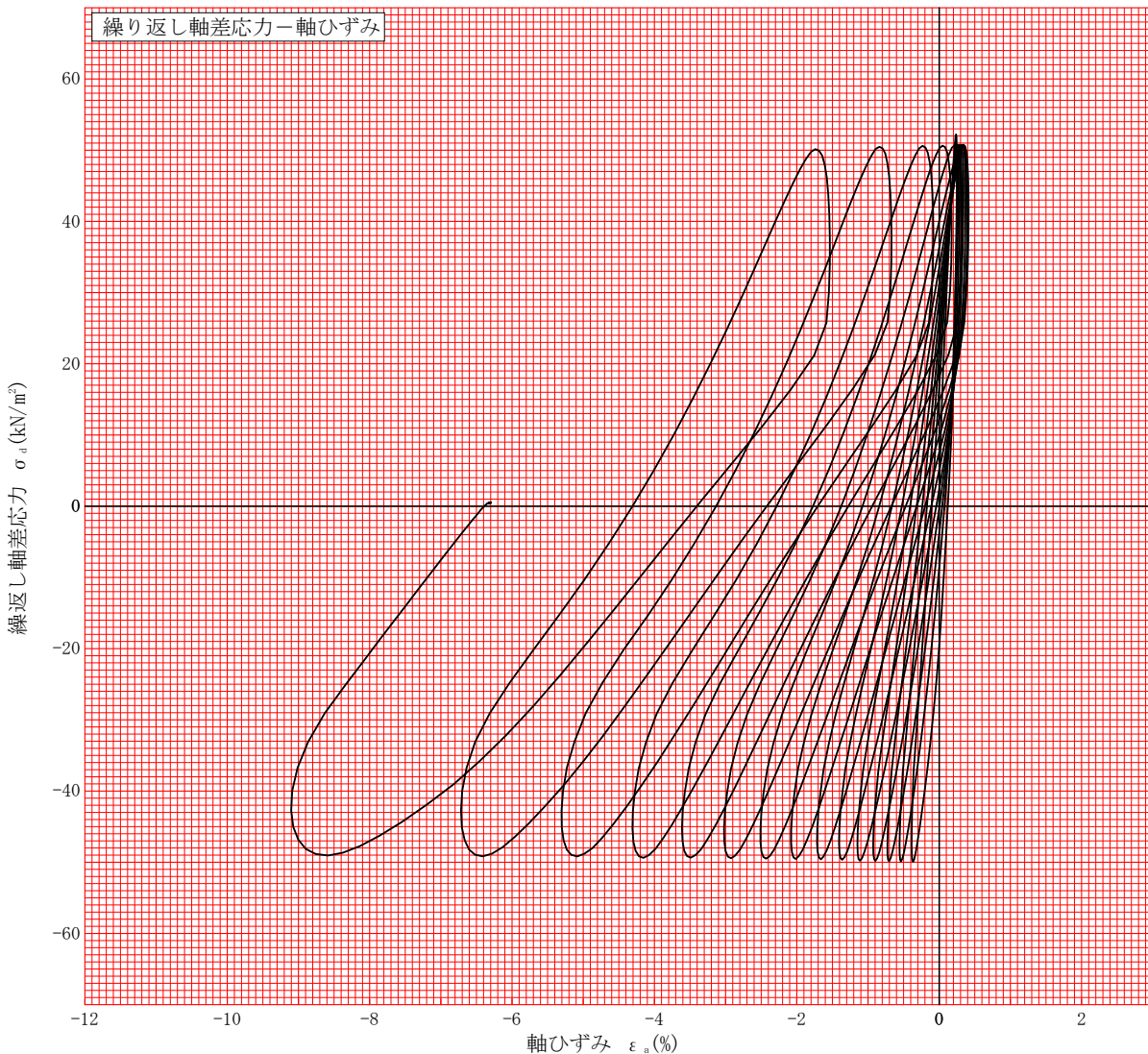
<p>特記事項</p> <p>1) $DA = 1\%$までの平均値 2) 繰返し軸差応力，軸ひずみ，過剰間隙水圧比または，軸荷重，軸変位，過剰間隙水圧のいずれかを図示する。または別途添付してよい。必要に応じてセル圧の連続記録も添える。</p> <p style="text-align: center;">[1kN/m² ≒ 0.1012kgf/cm²]</p>	<p>供試体初期状態</p>	<p>繰返し載荷後</p>
--	----------------	---------------

調査件名 サンプル 試験年月日

試料番号（深さ） S5-5（-19.00~-20.00m） 試験者 地盤 太郎

供試体 No.	1	軸ひずみの両振幅	圧縮・伸張荷重の比 P_c/P_E	繰返し軸差応力 σ_d kN/m ²	繰返し載荷回数 N_c
試験条件	背圧 u_b kN/m ²	196.2	$DA \leq 1\%$ ¹⁾	1.018	50.471
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1	$DA = 1\%$	1.018	50.306
	有効拘束圧 σ'_{o3} kN/m ²	98.1	2%	1.023	50.172
載荷波形		5%	1.025	50.013	12
載荷周波数 f Hz	0.2	%			
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_c$	0.257	過剰間隙水圧比95%のときの繰返し載荷回数 N_{95}			

波形の連続記録²⁾



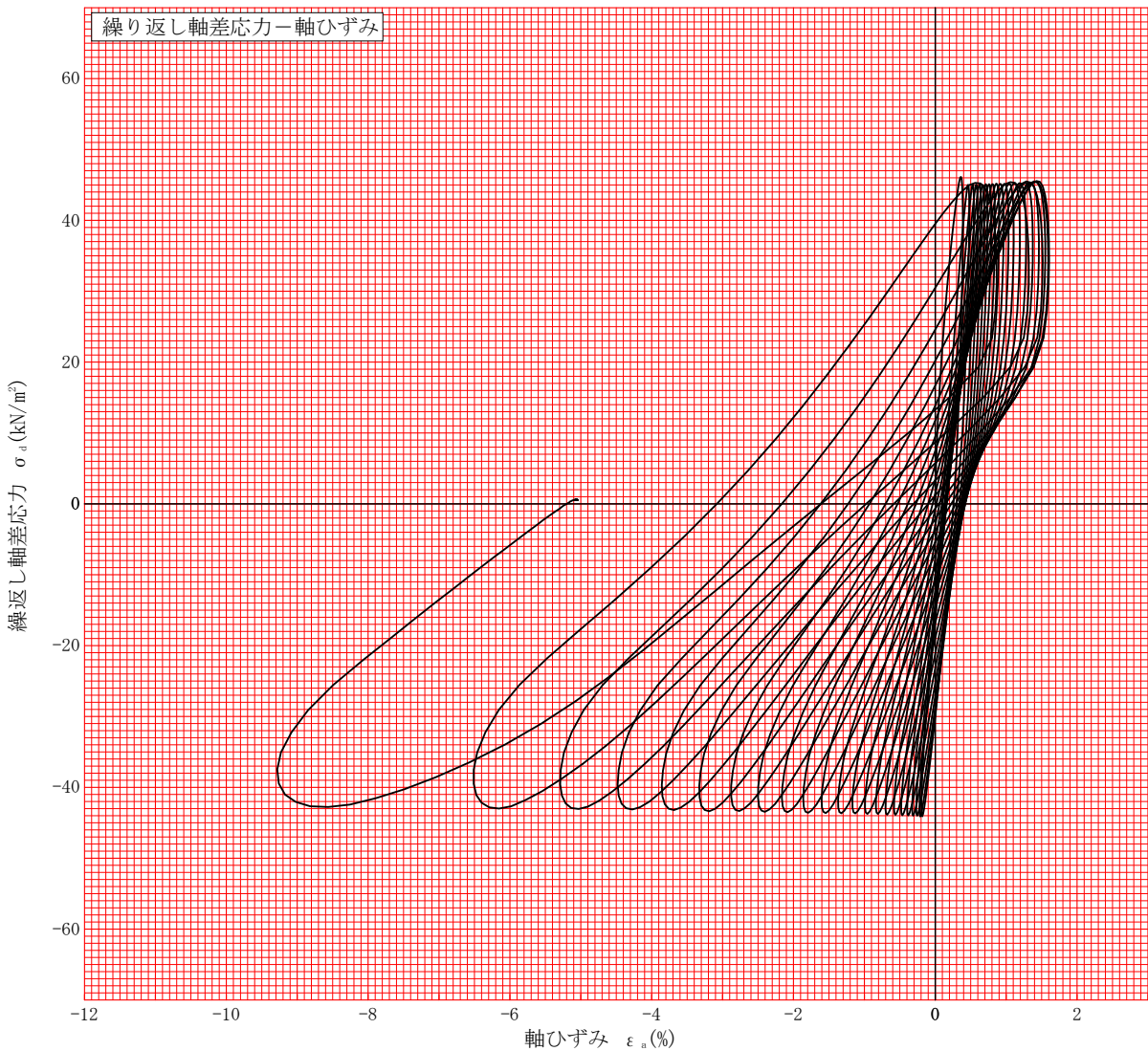
<p>特記事項</p> <p>1) $DA = 1\%$までの平均値 2) 繰返し軸差応力，軸ひずみ，過剰間隙水圧比または，軸荷重，軸変位，過剰間隙水圧のいずれかを図示する。または別途添付してよい。必要に応じてセル圧の連続記録も添える。</p> <p style="text-align: center;">[1kN/m² ≒ 0.1012kgf/cm²]</p>	<p>供試体初期状態</p>	<p>繰返し載荷後</p>
--	----------------	---------------

調査件名 サンプル 試験年月日

試料番号（深さ） S5-5（-19.00~-20.00m） 試験者 地盤 太郎

供試体 No.	2	軸ひずみの両振幅	圧縮・伸張荷重の比 P_c/P_E	繰返し軸差応力 σ_d kN/m ²	繰返し載荷回数 N_c
試験条件	背圧 u_b kN/m ²	196.2	$DA \leq 1\%$ ¹⁾	44.629	/
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1	$DA = 1\%$	44.528	
	有効拘束圧 $\sigma'_{o'}$ kN/m ²	98.1	2%	44.465	
載荷波形		5%	1.048	44.403	18
載荷周波数 f Hz	0.2	%			
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.227	過剰間隙水圧比95%のときの繰返し載荷回数 N_{95}			

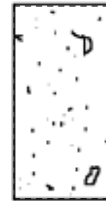
波形の連続記録²⁾



特記事項

- 1) $DA = 1\%$ までの平均値
 - 2) 繰返し軸差応力，軸ひずみ，過剰間隙水圧比または，軸荷重，軸変位，過剰間隙水圧のいずれかを図示する。または別途添付してよい。必要に応じてセル圧の連続記録も添える。
- [1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

供試体初期状態



繰返し載荷後



調査件名 サンプル

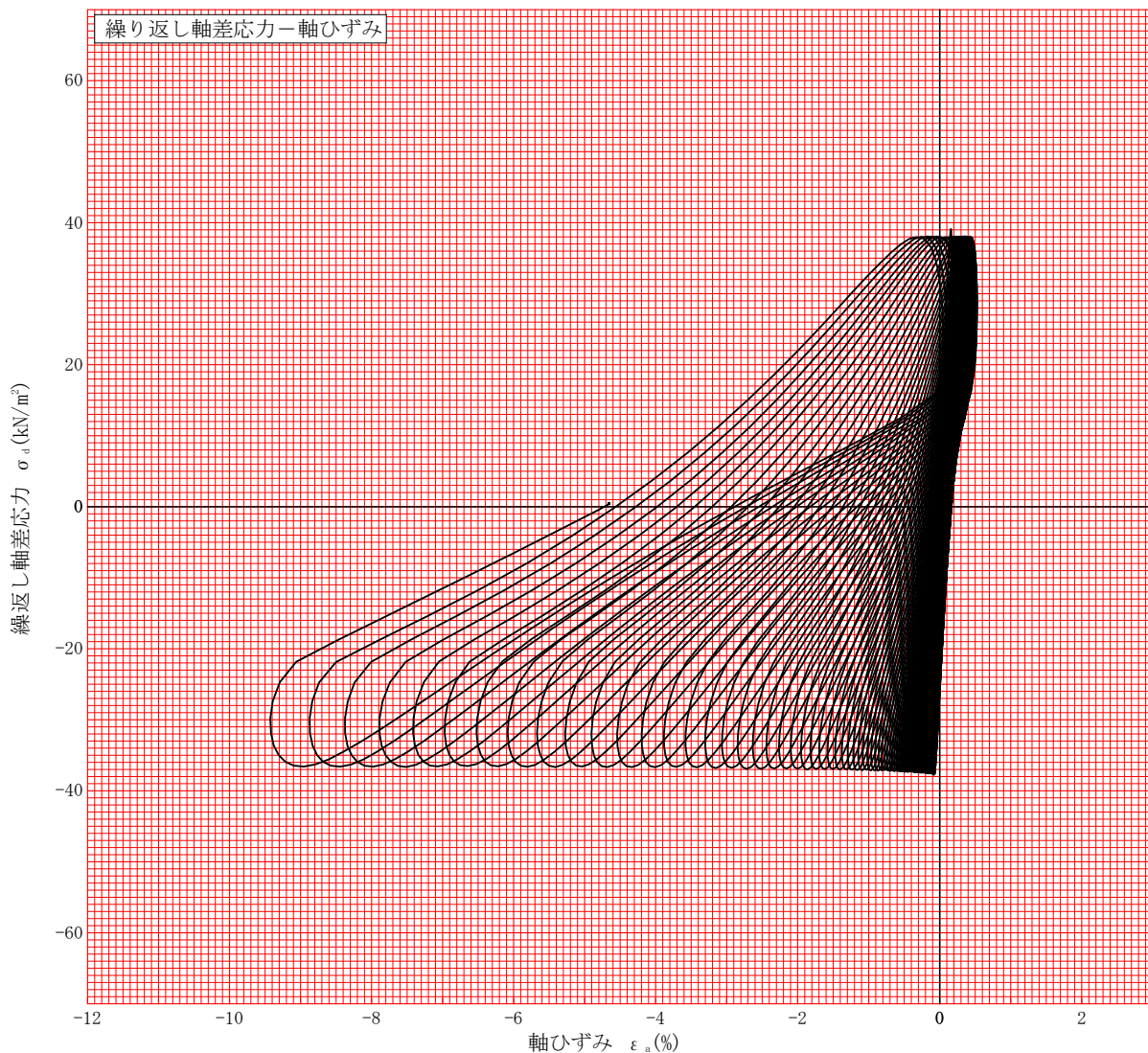
試験年月日

試料番号（深さ） S5-5（-19.00~-20.00m）

試験者 地盤 太郎

供試体 No.	3	軸ひずみの両振幅	圧縮・伸張荷重の比 P_c/P_E	繰返し軸差応力 σ_d kN/m ²	繰返し載荷回数 N_c
試験条件	背圧 u_b kN/m ²	196.2	$DA \leq 1\%$ ¹⁾	1.019	37.723
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1	$DA = 1\%$	1.019	37.634
	有効拘束圧 $\sigma'_{o'}$ kN/m ²	98.1	2%	1.030	37.489
載荷波形		5%	1.036	37.324	89
載荷周波数 f Hz	0.2	%			
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.192	過剰間隙水圧比95%のときの繰返し載荷回数 N_{95}			

波形の連続記録²⁾



特記事項

- 1) $DA = 1\%$ までの平均値
 - 2) 繰返し軸差応力，軸ひずみ，過剰間隙水圧比または，軸荷重，軸変位，過剰間隙水圧のいずれかを図示する。または別途添付してよい。必要に応じてセル圧の連続記録も添える。
- [1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

供試体初期状態



繰返し載荷後



調査件名 サンプル

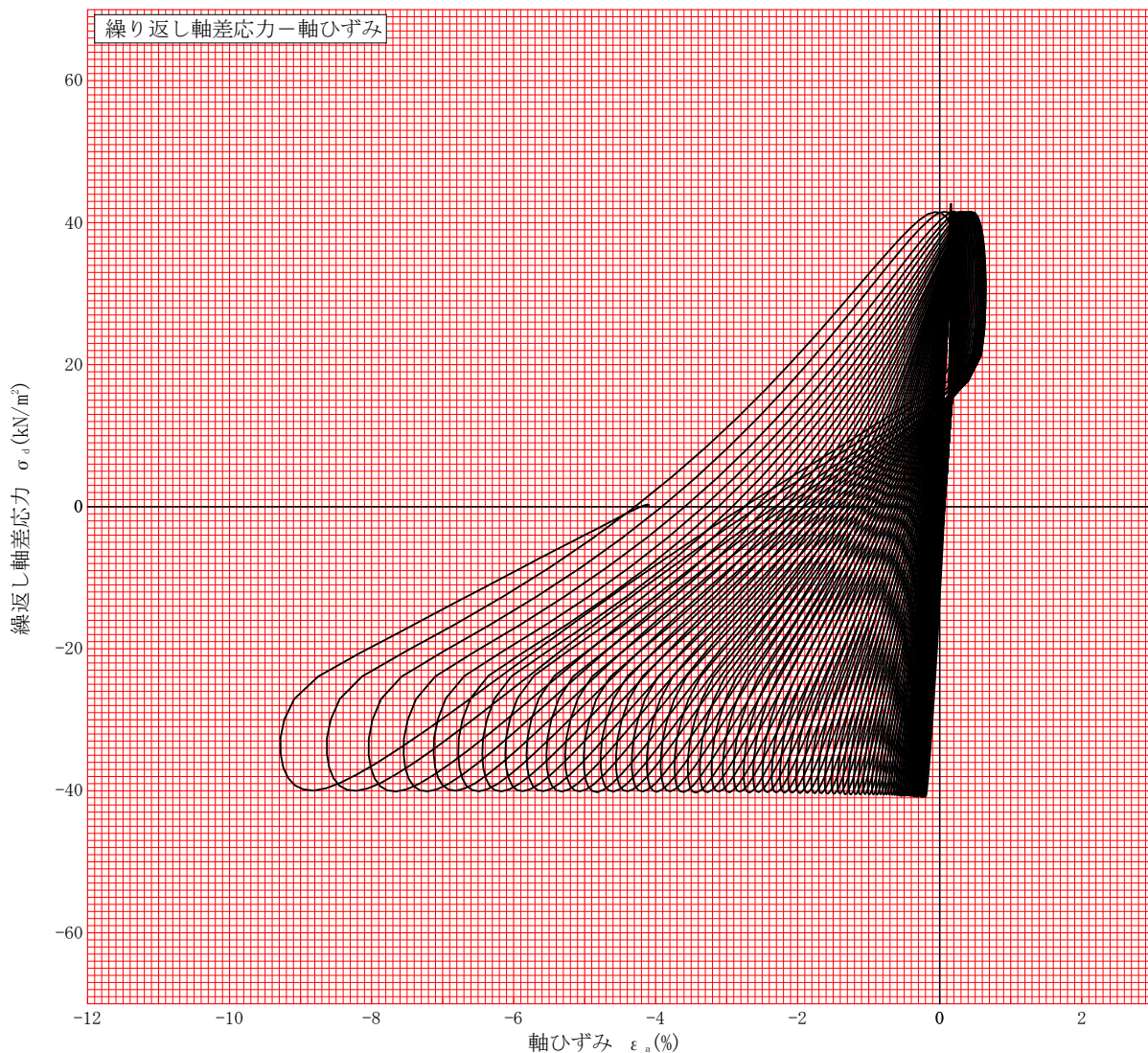
試験年月日

試料番号（深さ） S5-5（-19.00~-20.00m）

試験者 地盤 太郎

供試体 No.	4	軸ひずみの両振幅	圧縮・伸張荷重の比 P_c/P_E	繰返し軸差応力 σ_d kN/m ²	繰返し載荷回数 N_c
試験条件	背圧 u_b kN/m ²	196.2	$DA \leq 1\%$ ¹⁾	1.021	41.107
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1	$DA = 1\%$	1.021	40.974
	有効拘束圧 $\sigma'_{o'}$ kN/m ²	98.1	2%	1.023	40.824
載荷波形		5%	1.032	40.721	59
載荷周波数 f Hz	0.2	%			
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.210	過剰間隙水圧比95%のときの繰返し載荷回数 N_{95}			

波形の連続記録²⁾



特記事項

- 1) $DA = 1\%$ までの平均値
 - 2) 繰返し軸差応力, 軸ひずみ, 過剰間隙水圧比または, 軸荷重, 軸変位, 過剰間隙水圧のいずれかを図示する。または別途添付してよい。必要に応じてセル圧の連続記録も添える。
- [1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

供試体初期状態



繰返し載荷後



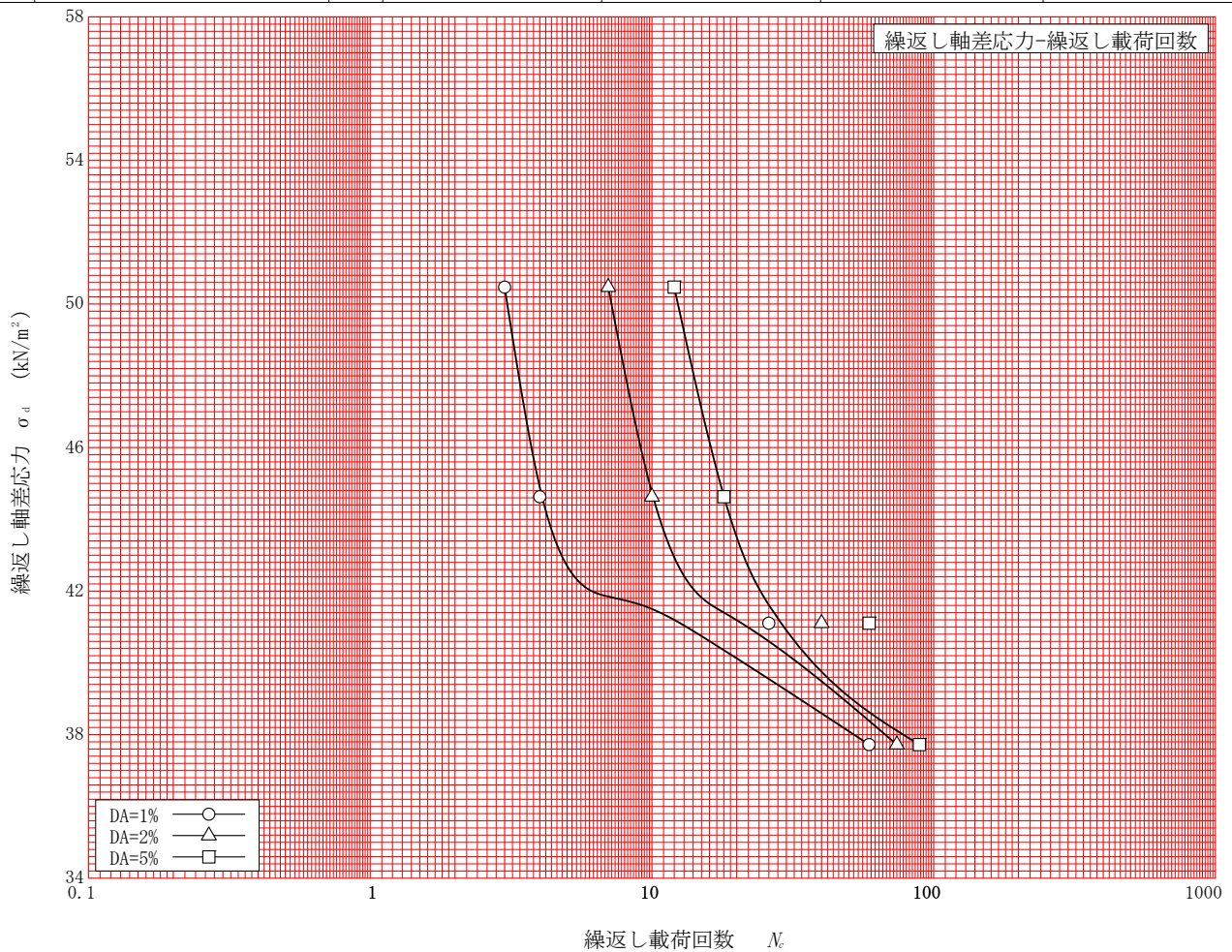
調査件名 サンプル

試験年月日

試料番号 (深さ) S5-5 (-19.00~-20.00m)

試験者 地盤 太郎

土質名称			シルト混じり粘土	試験装置		荷重計容量 N (位置)	1962(セルの外)
試験条件	背圧 u_0	kN/m ²	196.2	試験装置	載荷ピストン摩擦補正		無
	圧密応力 σ'_c	kN/m ²	98.1		間隙水圧測定経路体積変化 cm ³ /kN/m ²		
	有効拘束圧 σ'_o	kN/m ²	98.1		材質		ラテックス
載荷波形			0.2	ゴムスリーブ	厚さ mm		0.05
	載荷周波数 f	Hz			ゴムスリーブ貫入量		補正有
供試体 No.			1	2	3	4	
乾燥密度 ρ_{ds}	g/cm ³	0.997	0.986	0.993	0.990		
間隙比 e_c		1.69	1.72	1.69	1.70		
相対密度 D_{rc}	%						
繰返し軸差応力 σ_a	kN/m ²	50.471	44.629	37.723	41.107		
繰返し応力振幅比 $\sigma_a / 2\sigma'_o$		0.257	0.227	0.192	0.210		
繰返し載荷回数	軸ひずみの両振幅	DA = 1%	○	3.0	4.0	59	26
		2%	△	7.0	10	74	40
		5%	□	12	18	89	59
		%	◇				
	過剰間隙水圧比 95% N_{95}	●					



特記事項

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

JGS	0541	土の繰返し非排水三軸試験 (初期状態、圧密過程)
-----	------	--------------------------

調査件名 サンプル

試験年月日

試料番号 (深さ) S5-5 (-19.00~-20.00m)

試験者 地盤 太郎

供試体 No.		1		測定時刻	経過時間 t min	排水量		軸変位量		
土質名称		シルト混じり粘土				読み	排水量 ΔV cm ³	読み	軸変位量 ΔH cm	
試料の状態		乱さない								
試験条件	セル圧 σ_c kN/m ²	294.3			0	0.00	0.00			
	背圧 u_b kN/m ²	196.2			0.1	4.17	4.17			
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1			0.2	4.32	4.32			
測定計器	容量	校正係数			0.3	4.47	4.47			
荷重計	1962	1			0.4	4.62	4.62			
軸変位計	50	1			0.6	4.80	4.80			
間隙水圧計	981	1			1.0	5.06	5.06			
体積変化計	200	1			1.5	5.34	5.34			
供試体の作製方法		トリミング法			2	5.58	5.58			
初期状態	直径 cm	5.000	高さ cm	10.000		5	6.60	6.60		
		5.000		10.000		7	7.00	7.00		
		5.000		10.000		10	7.35	7.35		
	平均直径 D_0 cm		5.000			15	7.62	7.62		
	平均高さ H_0 cm		10.000			20	7.71	7.71		
	断面積 A_0 cm ²		19.63			30	7.72	7.72		
	体積 V_0 cm ³		196.30			40	7.66	7.66		
	質量 m_0 g		257.73			60	7.53	7.53		
						90	7.39	7.39		
	含水比	容器 No.				120	7.30	7.30		
m_a g						180	7.23	7.23		
m_b g					360	7.35	7.35			
		m_c g				700	7.82	7.82		
比		w_0 %			1440					
		平均値 w_0 %		37.2						
圧密後	排水量 ΔV_c cm ³		7.82							
	軸変位量 ΔH_c cm		0.133							
	体積 V_c cm ³		188.48							
	高さ H_c ¹⁾ cm		9.867							

特記事項

1) 軸変位量が測定されていない場合は次式から求める。

$$H_c = \left(1 - \frac{\Delta V_c}{3V_0}\right) H_0$$

JGS	0541	土の繰返し非排水三軸試験 (初期状態、圧密過程)
-----	------	--------------------------

調査件名 サンプル

試験年月日

試料番号 (深さ) S5-5 (-19.00~-20.00m)

試験者 地盤 太郎

供試体 No.		2		測定時刻	経過時間 t min	排水量		軸変位量	
土質名称		シルト混じり粘土				読み	排水量 ΔV cm ³	読み	軸変位量 ΔH cm
試料の状態		乱さない							
試験条件	セル圧 σ_c kN/m ²	294.3			0	0.00	0.00		
	背圧 u_b kN/m ²	196.2			0.1	4.61	4.61		
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1			0.2	5.23	5.23		
測定計器	容量	校正係数			0.3	5.69	5.69		
荷重計	1962	1			0.4	6.02	6.02		
軸変位計	50	1			0.6	6.49	6.49		
間隙水圧計	981	1			1.0	7.09	7.09		
体積変化計	200	1			1.5	7.58	7.58		
供試体の作製方法		トリミング法			2	7.94	7.94		
					3	8.44	8.44		
初期状態	直径 cm	5.000	高さ cm	10.000	5	9.05	9.05		
		5.000		10.000	7	9.44	9.44		
		5.000		10.000	10	9.82	9.82		
	平均直径 D_0 cm		5.000		15	10.20	10.20		
	平均高さ H_0 cm		10.000		20	10.44	10.44		
	断面積 A_0 cm ²		19.63		30	10.74	10.74		
	体積 V_0 cm ³		196.30		40	10.90	10.90		
	質量 m_0 g		242.97		60	11.06	11.06		
					90	11.18	11.18		
	含水比	容器 No.				120	11.23	11.23	
m_a g					180	11.28	11.28		
m_b g					360	11.29	11.29		
m_c g					700	11.26	11.26		
w_0 %					1440				
平均値 w_0 %		33.2							
圧密後	排水量 ΔV_c cm ³		11.26						
	軸変位量 ΔH_c cm		0.191						
	体積 V_c cm ³		185.04						
	高さ H_c ¹⁾ cm		9.809						

特記事項

1) 軸変位量が測定されていない場合は次式から求める。

$$H_c = \left(1 - \frac{\Delta V_c}{3V_0}\right) H_0$$

JGS	0541	土の繰返し非排水三軸試験 (初期状態、圧密過程)
-----	------	--------------------------

調査件名 サンプル

試験年月日

試料番号 (深さ) S5-5 (-19.00~-20.00m)

試験者 地盤 太郎

供試体 No.		3		測定時刻	経過時間 t min	排水量		軸変位量	
土質名称		シルト混じり粘土				読み	排水量 ΔV cm ³	読み	軸変位量 ΔH cm
試料の状態		乱さない							
試験条件	セル圧 σ_c kN/m ²	294.3			0	0.00	0.00		
	背圧 u_b kN/m ²	196.2			0.1	4.71	4.71		
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1			0.2	4.94	4.94		
測定計器	容量	校正係数			0.3	5.12	5.12		
荷重計	1962	1			0.4	5.28	5.28		
軸変位計	50	1			0.6	5.50	5.50		
間隙水圧計	981	1			1.0	5.78	5.78		
体積変化計	200	1			1.5	6.01	6.01		
供試体の作製方法		トリミング法			2	6.18	6.18		
					3	6.41	6.41		
初期状態	直径 cm	5.000	高さ cm	10.000	5	6.71	6.71		
		5.000		10.000	7	6.92	6.92		
		5.000		10.000	10	7.11	7.11		
	平均直径 D_0 cm		5.000		15	7.36	7.36		
	平均高さ H_0 cm		10.000		20	7.53	7.53		
	断面積 A_0 cm ²		19.63		30	7.77	7.77		
	体積 V_0 cm ³		196.30		40	7.93	7.93		
	質量 m_0 g		249.93		60	8.14	8.14		
					90	8.33	8.33		
	含水比	容器 No.				120	8.44	8.44	
m_a g					180	8.58	8.58		
m_b g					360	8.79	8.79		
m_c g					700	8.95	8.95		
w_0 %					1440				
平均値 w_0 %		34.3							
圧密後	排水量 ΔV_c cm ³		8.95						
	軸変位量 ΔH_c cm		0.152						
	体積 V_c cm ³		187.35						
	高さ H_c ¹⁾ cm		9.848						

特記事項

1) 軸変位量が測定されていない場合は次式から求める。

$$H_c = \left(1 - \frac{\Delta V_c}{3V_0}\right) H_0$$

JGS	0541	土の繰返し非排水三軸試験 (初期状態、圧密過程)
-----	------	--------------------------

調査件名 サンプル

試験年月日

試料番号 (深さ) S5-5 (-19.00~-20.00m)

試験者 地盤 太郎

供試体 No.		4		測定時刻	経過時間 t min	排水量		軸変位量		
土質名称		シルト混じり粘土				読み	排水量 ΔV cm ³	読み	軸変位量 ΔH cm	
試料の状態		乱さない								
試験条件	セル圧 σ_c kN/m ²	294.3			0	0.00	0.00			
	背圧 u_b kN/m ²	196.2			0.1	5.42	5.42			
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1			0.2	5.60	5.60			
測定計器	容量	校正係数			0.3	5.76	5.76			
荷重計	1962	1			0.4	5.90	5.90			
軸変位計	50	1			0.6	6.10	6.10			
間隙水圧計	981	1			1.0	6.41	6.41			
体積変化計	200	1			1.5	6.69	6.69			
供試体の作製方法		トリミング法			2	6.89	6.89			
					3	7.15	7.15			
初期状態	直径 cm	5.000	高さ cm	10.000		5	7.47	7.47		
		5.000		10.000		7	7.66	7.66		
		5.000		10.000		10	7.85	7.85		
	平均直径 D_0 cm		5.000			15	8.05	8.05		
	平均高さ H_0 cm		10.000			20	8.16	8.16		
	断面積 A_0 cm ²		19.63			30	8.32	8.32		
	体積 V_0 cm ³		196.30			40	8.43	8.43		
	質量 m_0 g		248.64			60	8.59	8.59		
						90	8.76	8.76		
	含水比	容器 No.				120	8.90	8.90		
m_a g						180	9.11	9.11		
水		m_b g				360	9.55	9.55		
		m_c g				700	10.02	10.02		
比		w_0 %				1440				
		平均値 w_0 %	34.9							
圧密後	排水量 ΔV_c cm ³		10.02							
	軸変位量 ΔH_c cm		0.170							
	体積 V_c cm ³		186.28							
	高さ H_c ¹⁾ cm		9.830							

特記事項

1) 軸変位量が測定されていない場合は次式から求める。

$$H_c = \left(1 - \frac{\Delta V_c}{3V_0}\right) H_0$$

調査件名 サンプル

試験年月日

試料番号 (深さ) S5-5 (-19.00~-20.00m)

試験者 地盤 太郎

土質名称	シルト混じり粘土	セル圧 σ_c kN/m ²	294.3		
土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.677	背圧 u_b kN/m ²	196.2		
液性限界 w_L %		圧密応力 σ'_c kN/m ²	98.1		
塑性限界 w_p %		供試体の作製方法	トリミング法		
供試体 No.	1	2	3	4	
初期状態	高さ H_0 cm	10.000	10.000	10.000	10.000
	直径 D_0 cm	5.000	5.000	5.000	5.000
	体積 V_0 cm ³	196.30	196.30	196.30	196.30
	質量 m_0 g	257.73	242.97	249.93	248.64
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	1.313	1.238	1.273	1.267
	含水比 w_0 %	37.2	33.2	34.3	34.9
	間隙比 e_0	1.80	1.88	1.82	1.85
圧密後	軸変位量 ΔH_c cm	0.133	0.191	0.152	0.170
	排水量 ΔV_c cm ³	7.82	11.26	8.95	10.02
	圧密後の間隙比 e_c	1.69	1.72	1.69	1.70
	炉乾燥質量 m_s g	187.87	182.42	186.10	184.38
圧密前B値	セル圧変化 $\Delta \sigma_c$ kN/m ²				
	間隙水圧変化 Δu kN/m ²				
	測定に要した時間 min				
	間隙水圧係数 B値				
圧密後B値	セル圧変化 $\Delta \sigma_c$ kN/m ²				
	間隙水圧; Δu_i kN/m ²				
	変化; Δu_i kN/m ²				
	測定に要した時間 min				
	間隙水圧係数 B値				

